

町田市中心市街地整備構想検討に伴う意見交換会（第3回）【要旨】

日 時 2013年7月25日（木）午後7時00分～午後8時45分

会 場 町田市役所 2階 市民協働おうえんルーム

出席者 38名（自治会、町内会、商店会、大規模店舗の各代表者）

〈次第〉

1. 事務局あいさつ
2. 第1・2回意見交換会の意見のまとめ
3. 町田市中心市街地の整備目標、方針（案）についての意見交換
4. 本日のまとめと今後の流れについて
5. 閉会あいさつ

町田市中心市街地の整備目標、方針（案）について以下のように意見をいただきました。

〈主な意見〉

■交通結節点としてのターミナル機能の強化

- ・バス、タクシーのターミナル機能の整備が必要。
- ・小田急線を連続立体化し、踏切を無くすことで南側と北側の通行を良くするべきである。
- ・原町田大通りが中心と思うが、他の通りと接続せず、結節点としての機能がない。

■新たな賑わいの創出

- ・高齢者、子連れの方が対象の買物できる商業施設が少なく、他地区（相模原、海老名、横浜など）への流出が危惧される。
- ・商都町田をこれからどうしていくのか、明確なコンセプトがないままに、駅前広場をつくっても意味がない。地域に住んでいる人が楽しければ良いなら、住宅地にした方がはるかに環境はよくなる。町田の商業の役割を明確に決めていくために、地域で話していくことが最初に必要だ。
- ・駅前に来訪者へのインフォメーションブース、アンテナショップを作るべきである。町田に愛着を持ってもらえるような文化芸術施設、スポーツ・レジャー施設の設置（子供達を育むためのプラネタリウムや映画、芝居劇場、若者が使えるイベントブースやホール等）や、子供から高齢者まで多世代交流できる施設の設置が必要。
- ・原町田大通りは貴重な空間である。にぎわいは文化的な店舗を意図的に導入

して、時間をかけて育てる方がよい。

■誰もが快適に歩くことができるまちづくり

- ・ペDESTリアンデッキの拡大が必要。
- ・車の乗り入れを制限し、買物客との分離が必要。
- ・駅から版画美術館まで、歩きやすく、楽しく歩ける工夫が必要。
- ・案内表示が、来街者にとって分かりにくいのではないか。
- ・夜間に多く見られる道路へのはみ出し看板の撤去は急務である。最近では昼間でも道路に設置する看板が見られる。
- ・どんな時間帯でも、障がい者、ベビーカー、高齢者の方々が歩きやすい環境整備が必要。

■その他、まちづくりの進め方等

- ・タウンマネージメント組織が必要。まちづくり公社の機能を見直し、税金を優良店舗導入に積極的に取り組む工夫をするべきである。
- ・ハードな話だけではなく、もっと味のある、住んでいる人が喜ぶことが望まれている。まちの中に出てきて、住民と一緒に話すセッションをつくって欲しい。
- ・町田駅中心部にマンションを建てる場合、商業との調和を考え、1～3階までは非住宅とし、商業を誘導することがよい。また、緑などで広場空間を確保することもよい。